

# ボランティアスタートアップ研修会 (NEAL リーダー)

令和2年9月20(日)～22日(火)

## 【目的】

自然体験活動の指導者に求められる基本的な知識・技能の習得を通して、「青少年教育・体験活動ボランティア養成研修」を受講した者の資質・能力を高める。

なお、本研修を修了し、認定試験に合格した者は、「自然体験活動指導者」(NEALリーダー)として登録することができる。

## 【参加者】7名

## 【プログラムの内容】

### 1日目

13:30 開講式、ガイダンス I  
14:00 「自然体験活動の技術」

### 2日目

9:00 「自然体験活動の技術」  
11:40 「青少年教育における体験活動」  
13:45 「安全管理」  
19:00 「自然体験活動の指導」

### 3日目

9:00 「自然体験活動の特質」  
13:00 「対象者理解」  
14:30 「ガイダンス」「修了試験」  
15:30 閉講式

## 講義「ガイダンス」



開講式の後、NEAL についての説明を受け、3日間を充実した時間にするためお互いが何を学びたいのかなどを共有した。

## 講義・演習「自然体験活動の技術」



「野外炊飯」をツールとして活動のスキルを体験的に学んだ。  
おいしいカレーを作っていました。翌日は、「野外炊飯で得られるもの」をテーマに知識・技能を洗い出し、必要なスキルを整理整頓し学んだ。



## 講義「青少年における体験活動」



「体験活動」が様々な組織の中でどのように位置づけられ、どのような効果を求められているのかを、思考を巡らせながらまとめた。

## 講義・演習「安全管理」



自然体験の安全管理について、安全を見る視点と、事故が起きた際の応急処置について、技術を学んだ。

## 講義「自然体験活動の指導」



指導者としての考え方を「体験」の中から知り、指導者が発信することが、対象者の思考にどのような影響を与えるのかを学んだ。

## 講義「自然体験活動の特質」



まなび工房の堀江先生にお越しいただき、体験活動の特質について、体験から感情へ意識を向けながら、学びを提供していただいた。  
参加者は目隠しをして活動する中で仲間の声の安心感を体験した。

## 講義「対象者理解」



日本キッズコーチング協会の黒田先生にお越しいただき、コーチングの視点から対象者を理解する視点を学びました。  
体系的に対象者を理解する方法を学んだ。

### 【参加者の声】

- 自分が思っているより「自然体験活動」の中身が深かったことに驚いた。学んだことを生かしていきたい。
- 指導者としての多くの視点を学ぶことができた。これまで体験がメインだったが色々な事を考えながら子どもたちの前に立たないとならないことを知った。

### 【成果と課題】

新型コロナウイルス感染症拡大のため、当初の予定から大幅な内容変更をした中での開催となった。感染予防について、「withコロナ」なのか「コロナ排除」の視点で、デザインするかを模索しながらの計画となった。今後、主催者としてその部分をしっかりと決定した上での企画運営が大切だと考える。  
ただ、このような状況の中でも的確な学びを提供できたことは今後につながっていくと考える。